

	市長	副市長	教育長	部長	課長	プラネリウム	郷土資料館
決裁							

### 会議（打合せ）報告書

会議名	平成28年度第2回会議白井市郷土資料館運営協議会						
場所	白井市文化センター2階研修室1			日時	平成29年3月3日(金) 15:30～17:00		
報告者	郷土・プラネタリウム班	職・氏名	主査補 芳賀 学				
出席者	(委員) 古里会長・横山副会長・倉田委員・石崎委員・小林委員・阿部委員・白田委員(7名) 岩立委員欠席 (資料館) 井上教育長、染谷教育部長 ・小松参事(館長) 芳賀主査補・酒井学芸員					傍聴者	1名

#### 【審議結果】

##### (1) 平成28年度事業実施状況について（報告）

大きな指摘事項等はなく承認されたが、以下の意見を戴いたので今後の事業実施の参考とする。

- ・常設展「白井の先駆者について」の展示の名称及び内容を検討して欲しい。
- ・文化財に関するフォーラムなどに職員は、できるだけ参加して欲しい。

##### (2) 平成29年度事業計画（案）について

大きな指摘事項等はなく承認されたが、以下の意見を戴いたので今後の事業実施の参考とする。

- ・常設展示の白井の先駆者について、マンネリ化している。
- ・1年のうちの半分は、小川さんの展示、残りの半分は外の展示にして、小川さんの展示も3か月、スパンを2回とかそのような形にして戴きたい。
- ・小川瓦木さん以外でも、白井の先駆者に相当する人もいるので、そのような方々の展示もお願いしたい。
- ・文化会館や図書館に来る人は多いが、郷土資料館に足を運んでくださる方々が少ないので、エレベーターの中にポスターを貼るなど工夫をして、掲示物や掲示物を貼るスペースを増やしていくことも必要である。
- ・郷土資料館友の会のようなものを作って、ガイドをお願いしたりしてみてもどうか。
- ・収蔵庫も不足しているので、様々な意見を組み合わせながら事業を進めて貰いたい。
- ・オープンして22年経過しているので、展示室をリニューアルしてみてもいいか。

## 1 開 会

## 2 挨拶

### 教育長挨拶

本日は、公私ともにお忙しい中、会議にご出席戴き誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日頃より郷土資料館の運営並びに事業に関しましてご指導・ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

私、昨年10月1日より、教育長を拝命いたしました井上と申します。

文化センターは、平成6年に開館以来22年目を迎えております。この間、郷土資料館は常設展「白井のあゆみ」の整備や企画展や郷土史の講座を通じて白井の歴史や文化を市民の皆様に伝える様々な事業を行ってまいりました。

今後も引き続き委員の皆様にご意見を賜りながら、この郷土資料館の発展に取り組んでいく所存でございます。本日の議題は、平成28年度の事業実施の状況についての報告及び平成29年度の事業計画案について、各委員の皆様にご十分なご審議を賜りたいと存じます。

当館の運営に関しまして、益々のご指導、ご協力を賜りますようお願いを申あげご挨拶とさせていただきます。

### 会長挨拶

私、我孫子市の文化財委員にも関わっており、根戸船戸遺跡から珍しい大刀かぶつちのたちが出て頭権大刀と申しまして、柄のところが変わっていて、古墳時代後期のものになります。

頭権大刀は、県内でも珍しく、全体的に復元可能なので、おそらく国の指定文化財になるだろうと思います。「発掘された日本列島展」といって文化庁が毎年、全国で発掘されたものの中から優れた資料をピックアップして展示をするということを行っています。この展覧会に出品されますので、興味のある方はご覧ください。

本日は、事業実施状況と事業計画案が議題に上っています。貴重なご意見・ご指導をよろしく申し上げます。

(教育長退席)

### 3 議題（進行：会長）

#### 【議題（1）に関して各委員から出された質疑・意見等】

- 委員 常設展のところで、通史の下で白井の先駆者という項目があるが、以前は白井ではなく郷土の先駆者と挙げられていたと思うが、どのような経過で白井に変更されたのか。内容の説明のところで、今は小川瓦木さんの展示をしているというお話があったが、ほかに白井に貢献のある方を過去に展示したことがあるのか。これから、展示していく予定があるのかどうか。
- 資料館 白井の先駆者いつから変更になったのか確認をしないと、今この場では即答できない。今のところ白井の先駆者としては、小川瓦木さんしか紹介していない。これから先も小川さんの作品を展示していく予定になっている。
- 委員 白井の先駆者となると幅が広がる。小川先生の功績を讃えるのであれば、前衛書道などの専門分野が入るだろうし、それ以外の人、江戸時代から白井という中で例えば、川上右仲さんは江戸へ墨を売りに出したりして、かなり街のために貢献しているし、今の白井は近隣の市町村と合わせて江戸時代の牧の話が大きく出ていた。現在だけの関心ではなくて、郷土資料館となれば歴史を考えて街のために貢献した人や、昔の出来事を、新しく街に移住して来た人にも、わかりやすい展示や説明を加えていったら、人がもっと来てもらえるのではないかと。
- 資料館 牧などは、常設展でもご紹介している点と、白井の先駆者というタイトルが小川瓦木さんの作品を展示するのにふさわしかどうかという問題もあると思うので、その辺は検討させて戴きたい。
- 委員 白井の先駆者というのは、展示自体に謳われたりしているのか。
- 資料館 展示室の常設展と反対の柱の隣にあり、便宜的なタイトルとして白井の先駆者を使用させて戴いている。かなり前に考えたタイトルなので、そろそろタイトルの見直しを考えても良い時期かもしれない。
- 委員 展示室の中に、白井の先駆者の文言があったか。
- 資料館 タイトルの中にある。
- 委員 今までずっと白井の先駆者だったのか。

- 委員 以前の年報は郷土の先駆者だったが、いつしか白井の先駆者変わったので、小川瓦木さんだけが白井の貢献者と捉えられかねない。
- 資料館 郷土と白井の変更については深い意味はない。
- 委員 小川さんは誕生して何年位たつのか。
- 資料館 この間、生誕100年をむかえた。
- 委員 現在白井に住んでいる人にとっては郷土の歴史の方に興味があり長い歴史から考えたら、あたかも小川瓦木さんだけが白井に貢献したような印象を受けるので、もう少し考えて戴きたい。タイトルとしては少し大きすぎたのではないかと思っている。
- 委員 以前の協議会の時に委員から小川瓦木さんだけではなくて、絵を描いて歌を書く有名な方（山口豊専）の展示はどうかと提案があった。その辺の検討はどうなったのか。
- 資料館 白井市郷土資料館の特徴としては、日本一小川先生の作品を所蔵しており、作品を紹介しないわけにはいかない。200点余り当館に寄贈して戴いているので、そういった観点からも展示しないのは難しい。タイトルについては違うタイトルで紹介することを考えても良いと思う。横山委員のおっしゃっている外の人々の展示は常設展や企画展の方でどんどん紹介していけたらと思っている。
- 委員 先駆者としては、栄海上人や川上右仲さんなど非常に歴史に残るような方が、また瓦木さんは芸術的なものであるが、そのほか社会に貢献した人物の中では決して引けを取らない人またそれ以上の人が何人かいるので、そういった人の企画展も実施するべきである。
- 委員 賛成だが、小川瓦木さんの展示を2期に分けているのならば、1期は小川さんの作品の展示、2期目はほかの方の展示というように展示室の広さを考慮しながら、特集として各地域のことや、昔から貢献のあった方など展示して戴いた方が、新しく白井に来た人たちなどに、もっと白井を知って戴く機会になるのではないか。
- 委員 白井の偉人はかなりいると思う。私は、10年しか住んでいないが数人偉人を知っている。経歴だとか、実績を考慮してそういった人たちを、小、中学校の子供たちに偉人として見せれば、教育上参考になるのではないか。

○委員 私は、賛成である。

○委員 問題は2つあると、1つは、白井の先駆者が小川瓦木先生の作品を展示するタイトルにふさわしいのかどうか、もう一つは館の方針として白井の先駆者を取り上げての展示方法としてよいのかだと思うが、盛岡に先人記念館というのがある。これは、市の出身の偉人を何十人と掲げて常設展として観れるという館がある。館として何を目的とするかとその2つの問題がある。名称だけの問題なら、そういう名称にした方がいいし、先駆者というものをどう取り上げるかについては、方針をまとめて企画展でやっていくのかなど色々な方法があるので、その辺は検討戴いた方がよい。

資料館 現状では、企画展でそういった紹介をしているので、こちらの方は検討していく。

○委員 作品受け入れの経緯はわからないが、寄贈されたものなのか。

資料館 寄贈を受けたものである。

○委員 その時に何か約束が、あったのか。

資料館 ご家族の方から、展示して欲しいとの要望があった。昔は、逆で、小川瓦木さんが主で、郷土の資料が少しの展示で、長年かけて変えていった。

○委員 それは、この会議の提言で通史がないので、通史展示を行ってスペースを入れ替えて展示したらどうかと、この会議の提言を受けて、事務局の方で変更していった。

資料館 今のところ、ご家族の方の意向は、作品を寄贈しているので少しでもいいから展示して欲しいという要望があり、3点か大きさにもよるが5点位年に1回、今回は小川さんの特別展を行ったので2回となっているが、通常は年1回の展示替えになっている。小川さんの方でも、いつ誰が来ても、作品は白井にあると紹介しているので、その時に、何か1つでもいいから瓦木の作品を展示して欲しいという家族の要望があった。

○委員 それを受けて館としては、そういう方針でやられているということか。

資料館 はい、そういうことである。日本で、一番持っているというのがひとつの売りになっているので、あと白井出身の方なので郷土資料館としては展示は続けていきたいと考えている。

○委員 わかりました。名称と白井の先駆者というテーマを検討して戴きたい。よろしいか。

- 委員 はい、結構である。
- 委員 外には、何か質問などあるか。
- 委員 2月5日に、「フォーラム房総の牧を考える」という催しがあり、酒々井町が主催で行い、国立歴史民俗博物館館長久留島浩さんがコーディネーターで関係の市、町から職員の方が来て、それぞれ発表があった。鎌ヶ谷市からは、大勢参加していた。国の文化財に指定されている捕込、野馬土手があるので、そういう関係で出席していたのだと思う。白井市にも印西牧、中野牧があったので是非こういったイベントに積極的に参加して戴きたい。
- 委員 展覧会みたいなものか。
- 委員 それぞれの地域の関係者が、発表して、最後に館長がまとめをする。また、参加者からの質問を受付けた。千葉県は、歴史上、小金牧、佐倉牧、峯岡牧があり、小金牧には白井も含まれているので、是非参加した方が良いのではないか。
- 委員 何か話は、あったのか。
- 資料館 郷土資料館は、印西牧場之真景図を画像データとして提供した。シンポジュームの担当が酒々井で画像の提供の依頼が来ただけになる。
- 委員 白井が、出ていないから残念だなと思い提案した。
- 資料館 酒々井からは、画像提供の依頼しか残念ならなかった。
- 委員 パネリストとしての依頼はなくても、自主的に、文化課、郷土資料館の職員の参加はなかったのか。
- 委員 残念ながら、周りを見渡したが、白井市の職員の姿がなかった。ガイドの会からは、4名参加した。
- 資料館 その日は、出勤であった。
- 委員 白井でも牧の資料は、沢山あったので、一般の人は無理でも職員は1人くらいは参加すると良かった。もし、そういう機会があれば、積極的に参加できるような体制を整えてもらいたい。
- 委員 業務もある参加は難しいときもある。松戸の場合は、自分の担当に関係するものは、

積極的に出張扱いにして出席させていた。できれば、その辺は館の方針として考えて戴きたい。

○委員 課長さんとしては、どうか。

参事 文化課の方に、案内は来ている。当時職員は、用事があり残念ながら行けなかった。

○委員 万障お繰り合わせのうえ、参加して戴きたい。

○委員 郷土資料館の職員だけではなく、文化課の職員も白井の歴史を調べていく上で、牧は避けて通れない。情報を共有して協力し合ってやって頂ければ、もっと良くなるのではないか。

参事 今年度も久留島先生に依頼して、牧についての講演会を行っているくらいなので、職員は十分関心は持っているが、たまたま都合がつかなくて今回行けなかったが、今後とも参加について十分に検討していきたい。

資料館 資料の方は、戴くことになっているので、その資料で勉強させて戴きたいと考えている。

○委員 刊行物図書の販売とあるが、どれくらい売り上げがあるのか。

資料館 大体10万円前後ある。

○委員 それは、普通年報に記載する。

資料館 郷土資料館だけではなく、文化課で作成したものも販売している。書籍の販売窓口が、郷土資料館で文化課のしろい散策マップや民俗調査などを郷土資料館の窓口で販売している。平均して10万円前後多い時で、10万円超えるときもある。少ない時は、7～8万円の売り上げになる。

○委員 書籍の販売は、郷土資料館だけでないことがわかった。

○委員 年報の8ページに、販売冊子の一覧が出ているが、ここに売り上げ冊数や金額を入れれば、良かったのではないか。何か、入れるとまずいと言うようなことはあるのか。

資料館 今まで、そのような発想がなかったので入れていない。

○委員 検討して戴きたい。

資料館 売り上げの予算に反映させている。

○委員 実績は、年報があるので、年報に沿った形でご説明頂くのが分かりやすい。寄託というの

が7ページにあるが、27年度にということなのか、新規なのか継続なのか。

資料館 全部継続である。

○委員 新規と継続欄を分けて、作って掲載した方がよい。新規のマッチ箱2ケースというのは、展示の予定はあるのか。

資料館 まだ整理の方が出来ていないが、普通のマッチ箱、民俗関係のものなども若干あるので、その時にご紹介できたらと考えている。

○委員 8ページの借用は4件あって、高橋良助コレクションというのは新規に借りたのか。展示に使用したのか。

資料館 印西市からお借りしたものになる。

○委員 借りているということか。

資料館 印西市からいったんお借りしている形になる。

○委員 同じく借用の4件のうちの古文書とあるが、ただ、古文書と書いてるので内容がわからないが、何件くらいあるのか。

資料館 天下井さんの古文書で、現在は、購入していて50点くらいになる。

○委員 現在は、借用ではなく購入済みということになるのか。

資料館 28年度にすべて購入は終了している。清戸の古文書になる。

○委員 購入という項目は、なかったのか。

資料館 購入という欄が今までなかったなので、作るようにする。

○委員 比較する意味で、昨年の開館日数と来館者人数が掲載されていたと思うが。

資料館 今回の資料は、年度途中のため1月末までの暫定値であり、年間の実績が出た段階で前年度と比較したものを第1回目の会議資料としている。

#### 【議題（2）に関して各委員から出された質疑・意見等】

○委員 庁舎改修の関係で、ギャラリーが使いなくなるのはいつまでなのか。

資料館 29年度中である。

参事 5月くらいに引っ越しが予定され、連休明けから1年間まるまる使用できない。今の庁舎が、3月一杯工事がありオープンはやはり5月からになる。



- 委員 もう1年あれば、何とか移動できる。
- 参事 はい。
- 委員 先ほど、横山委員が言っていた常設展についてこの計画だと白井の先駆者としてやっていくのか、マンネリ化している。
- 委員 事務局で考えてくれるという話になった。
- 委員 考えてくれるということだが、再度言いたい。
- 委員 僕が要望したのは、1年はやるので、半分は小川さんの貴重なものを見せて頂いて、残りの半分は企画展などを見せて頂きたい。常設展ではなく、期間的に半年や3か月というように変えていくのも可能だと考える。
- 委員 書道の場合、一回見ってしまうと展示期間半年も必要なのか。山口豊専さんとか、ほかにも白井の先駆者に当たるような人もいる。小川さんの作品だけが毎年展示されていると常設展を見てもうあきていいやとなる。このところマンネリ化してしまっていて、去年やっているから、今年もやるというのではなくて、来館者の皆さんの反応を見て考えてもらいたい。
- 委員 郷土資料館の展示スペースも限られているので、一年間通じて、ずっとではなく、3か月間スパンを2回とかにして、ほかの人に見てもらいたいものに期間を取るとか考えてもらいたい。若い人、新しく白井の住民になった人に見てもらいたい。今日上がってくるときに、プラネタリウムの看板が多いと感じ、1枚2枚の差ではなく同じ3階なのに、違う。
- 委員 プラネタリウムをご覧になる方は郷土資料館もご覧くださいと書いてもらおう。中学生、高校生、新しく市に入ってきた人たちは、どういう展示を望むのかといった発想をすれば、良い展示になるのではないかな。
- 委員 まず、郷土資料館を、知っていただくことが大事になる。図書館などに来る人は多いが、郷土資料館に来る人は少ないので、足を運んで戴くことが大事で、階段のスペースだとか利用しているのが、鎌ヶ谷である。階段のスペースを利用して、誘導の言葉や写真を貼ったり、戸田の資料館は、写真や文章など工夫している。場所を知ってもらうこと

と誘ってあげることが大事である。目につく方法を考えていったらどうかと思う。看板の数が、少ないのであれば、よくホテルでも、エレベーターの中にポスターを貼ったりして工夫しているので、参考にするのも良いのではないか。鎌ヶ谷の郷土資料館には、解説員がいて土日に行くと、案内してくれる。白田委員のように、白井の歴史を勉強している故郷ガイドの会や郷土史の会と郷土資料館が連携してガイドをして欲しい。

○委員 友の会のようなものを是非作ってもらえると良い。鎌ヶ谷に公開講座に行った時も友の会の人を受け付けてくれた。当日申し込んだが、「今、席をご用意いたします。」ということで、ほかの市は臨機応変に対応している。ボランティアの人がやっていたら、対応が違うのではないか。

○委員 6万人いる市で、私が引っ越ししてきた当時は3万人位で、その後市になったが急激に人口も増加してきたので声掛けすればボランティアも集まるのではないか。

○委員 ガイドの会は、高齢化により退会者が出る一方、入会者は少ない。

○委員 昨日、文化財審議会があり、文化財の方は収蔵施設が不足している問題があって、展示室少し潰して収蔵庫にする意見もあり、様々な意見を合わせながら、館の方針を出して戴けたらと思う。

○委員 オープンして22年経過しているので、色々な課題が出てきている。展示室のリニューアルを実施すれば、その課題に対応できるのではないか。展示室1の展示は、開館当初のままか。

資料館 すべて、残っている。

○委員 少なくとも、20数年たっていることから、何らかのリニューアルを考えているのか。

○委員 収蔵庫が狭い。年報の10ページの見取り図で行くと、民具まで壁をずらして収蔵庫を広げては、紙類の文化財は、湿気などに弱いのもう少し壁を移して戴けたら今後の収蔵に良いのではないかと思う。これ以上建物を大きくすることは無理なので。少しでも、収蔵庫が広がるように。

○委員 今、郷土資料館で問題になっている展示のことと、収蔵庫の問題、ハードとソフトについ

て見直す必要がある。展示室2は、中央のスペースが空いている。その部分の利用を考えると、効果的に利用することが出来ると思う。色々なことを念頭に置きながら、今後限られたスペースで何が出来るか検討をし、展示方法と展示室の利用を考えていく時期なのではないか。

○委員 賛成だ。年報も、この協議会に出るようになってから、そのままなので変えていった方がいい。年報も形式的に同じだから、展示室も同じなのではないか。

○委員 新しい資料も増えてきているので、その資料を生かすような展示をして欲しい。ハード部分の検討時期に入ってきている。お金のかかることなので、すぐにというわけにはいかないが、展示テーマの問題は小手先では、解決できないので本腰を入れて検討していった方がいいか。

○委員 予算が、かかることなのですぐにとはいかない。県も文化財を市町村に返そうとしているが、スペースの問題があるので、受け取れない。段々県の資料も市町村に戻ってくるようになってくる。一本桜南の砂鉄の入った壺も帰ってくる。展示室のリニューアルの検討をよろしく願います。

○委員 公共施設の今後の在り方について、今年度中に各施設ごとの修繕計画の策定をする中で具体的には蛍光灯一つでもこのままで使用するのか等の検討もあり、そういったことも含めた建物の修繕計画の中でリニューアルも検討していくと考えている。又具体的なレイアウトの関係は、緊急的なものは計画の中で、人の問題もあったが課内で一時的な対応は可能だと思っており、ご意見を参考に検討させて戴きたい。

○委員 意見を参考にして、運営を進めて戴きたい。以上で、平成28年度第2回白井市郷土資料館運営協議会の議事を終了する。

4 その他 特になし

5 閉会